

ミライの学校を創るプロジェクト News No.2

※このチラシは、隣接する信太小学校区にも配布しています。

令和2年8月 和泉市

第2回ミライの学校を創るプロジェクトが8/1(土)に開催されました。

今回は前回の意見交換で特に関心の高かった「教育環境」、「跡地利用」、「通学対策」について引き続き意見交換しました。

また、10月頃には地域説明会、保護者アンケートを計画していくことを確認しました。

教育環境等について

●新たな学校の開校にあたって次のことを確認しました。

・新校舎を整備予定であること

→「地域とともにある学校」として、地域との交流、地域の学校教育への参画などに備えたスペース作りなどを想定。



・教員の配置数について

→各学年1クラスのままでいると、それぞれの学校で11人～13人の教員定数となるが、小中一貫校となり、**2クラスが確保されると38人の定数**が見込まれる。

※現時点で0～5歳の子どもについて概ね各年齢が50人を超過しており、各学年2クラスとなる可能性がある。

・施設一体型義務教育学校のメリット・デメリットについて

→不安に感じる部分と小中一貫校で期待されること、南松尾はつが野学園PTAの声等、**メリット・デメリットの両面を説明**し、小中一貫校が百点満点ではないが、**総合的な理解**を求める。

・施設一体型義務教育学校として工夫が必要な点

→「**地域とともにある学校づくりの体制構築**」を図っていくことが重要。
小学校高学年のリーダー性・主体性の育成や、年間行事予定や時間割りの工夫などについても検討が必要。

◎グループ協議での意見

- ・学校の魅力を発信していくことが非常に重要
- ・教員数については、わかりやすい説明が必要
- ・加配教員やSSWなどの専門家の配置を希望する
- ・地域住民が利用できる図書館の開放に際し、公園的な機能や民間活力の検討も良いのでは
- ・既存の取組みをどのように引き継いでいくかも大切

跡地利用について

●学校の跡地利用について次のことを確認しました。

・幸小学校区では、跡地については、民間事業者へ売却又は貸付を行い、まちに必要な機能を誘致していく。なお、防災機能の確保として、隣接する市営住宅跡地を旭公園の移転候補地として、防災機能を備えた都市公園を整備する予定。

・池上小学校区では、跡地については、防災機能を備えた広場を確保するとともに、民間事業者へ売却又は貸付を行っていく。また、まちに必要な機能として、その広場の一角に老人集会所の移設と跡地の一部を町会館用地として地元町会へ売却することについて検討。

◎グループ協議での意見

- ・池上小学校の跡地について、具体案を整理してほしい
- ・防災倉庫の集約を検討ができないか
- ・学校利用団体がどうなるのか、整理が必要
- ・市としてのスタンスを一層明確化すべき 等

通学対策について

●通学対策については、次のことを確認しました。

・幸小学校区に関して、**線路横断対策が重要**である。歩道橋の設置については確約できるものではないが、**踏切前に子どもの待機スペースを確保**するなどの横断対策の整理が重要。

・池上小学校区に関して、**道路の狭さや交通量の多さへの対策が重要**である。道幅を広げることは難しいが、**グリーンベルトやカラー塗装の工夫、ラバーポール等による歩道の確保の検討**、その他、既存の防犯カメラの移設や道路標識の整理等についても検討。



◎グループ協議での意見

- ・踏切対応について、歩道橋やアンダーパスの設置が難しい理由を情報共有したうえで、検討が必要
- ・見守り隊による危険箇所での誘導だけでなく、行政支援もお願いしたい
- ・富秋中前の溝蓋や信号、見通しの悪い場所について対応の検討が必要 等

(今後の予定)

今後、地域の方への説明会や保護者アンケートなどを予定しています。「富秋中学校区等まちづくり検討会議」や、このミライの学校を創るプロジェクトでの意見に加え地域のお声をお聞きしながら検討を進めていきます。

メール登録で 情報をお届け! & ご意見をお寄せください!

メール登録をしていただければ、富秋中学校区の新しい学校の検討についての情報を受け取ることができます。また、みなさんからのご意見もお寄せください。登録はアドレス宛て、もしくは下記QRコードを読み取っていただき、氏名、「ニュースレター希望」を記載のうえ、ご返信ください。

【tomiaki@city.osaka-izumi.lg.jp】

(問合せ先) 教育・こども部 教育総務課 0725-99-8196

